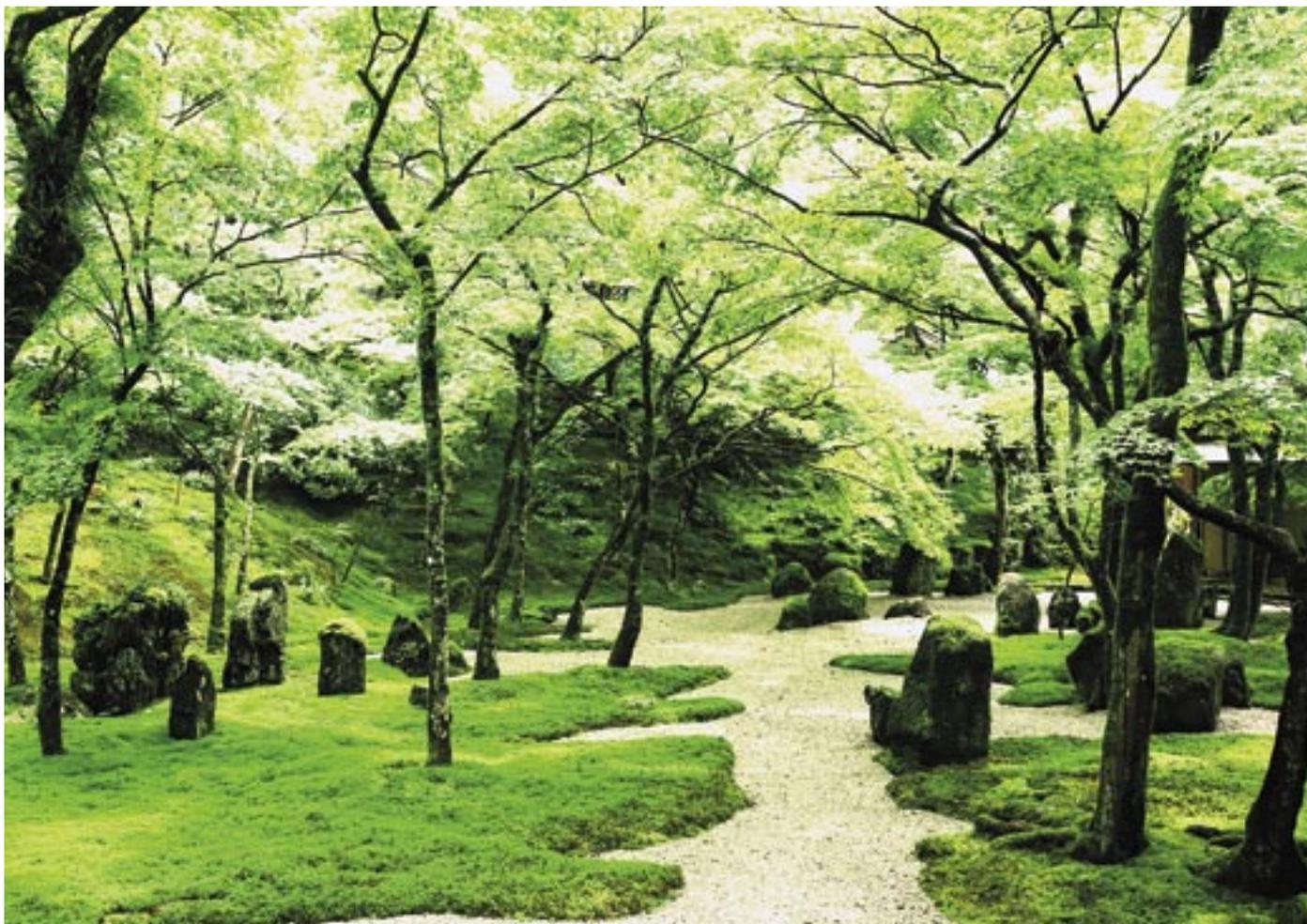


よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

DOYU 2010 August 8 Vol.529  
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



光明禅寺 こもれび

特集

福岡発

## 拡大する産業連携

かいぶつせいむじゅく  
開物成務塾



人の役に立っている事を肌で感じ合える

聞き上手で問題解決

21世紀型 自立型企業づくり

株式会社 グッド・サポート 代表取締役 中島 克海氏

同友会  
3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



福岡県太宰府市 光明禅寺 こもれび



なんばショット倶楽部  
(株)エイト取締役  
久場 眞二氏 (南支部)

c o n t e n t s

特集

福岡発

拡大する産業連携 **開物成務塾** ..... 3

21世紀型 企業づくり  
人の役に立っている事を  
肌で感じ喜び合える ..... 6

物づくり・人づくり・地域づくり②  
常に進化!  
全ては「お客様の笑顔」のために ..... 9

シリーズ 中小企業憲章  
「中小企業憲章」が閣議決定 ..... 10

8月行事案内 ..... 12

ようこそ同友会へ ..... 14

第一回「糸島の集い」 ..... 14

第3回理事会報告 ..... 15

Information

環境経営・CO<sub>2</sub>削減、はじめの一步



2009年度

「同友エコ」の結果について

同友会として初めて、環境経営・CO<sub>2</sub>削減はじめの一步として取り組んだ「同友エコ」ですが、全国から191社(福岡から18社)の応募がありました。

CO<sub>2</sub>削減量の提出があった159社だけでも、前年(基準年)比では約1680トンの削減となっています。

一社一社では小さな取り組みでも、私たち中小企業が集まれば、大きな取り組みとなるのです。

2010年度も引き続きエントリー企業を募集しています(応募締め切りは、2011年5月10日)。

詳しくは同友会事務局までお問い合わせ下さい。

なお、福岡同友会では、6社(事務局含む)が先の全国総会(大分)にて表彰されています。

同友会名	賞の名称	企業名
福岡	エコ仕事づくり・環境経営賞、CO <sub>2</sub>	まるは油脂化学(株)
福岡	「社員と共に」賞	(株)福商運輸
福岡	CO <sub>2</sub> 削減貢献賞	(株)クリーン春日
福岡	CO <sub>2</sub> 削減貢献賞	(株)高崎
福岡	CO <sub>2</sub> 削減貢献賞	(有)日研
事務局	事務局モデル賞	宮城、埼玉、東京、静岡、愛知、岐阜、兵庫、香川、福岡、熊本、鹿児島

# 福岡発 拡大する産業連携

開物成務塾

福岡県同友会では、企業連携や新規事業を活性化させる勉強会が多数行われてい  
ます。福岡県企業連携推進委員会のもと、FAST、県南地区のGIEEMON小屋、北九  
州地区の一天塾、そして福岡地区の開物成務塾。  
今回は開催から2年経過し、新しい展開を目指す開物成務塾にスポットを当てます。

「開物成務」とは万物を開発してあらゆる事業を完成させることを言いますが、その語源は遠く古代中国の『易経』にさかのぼります。日本では幕末期の開国に伴う学術改革の際に使われており、命名にはそういった背景があるそうです。

この開物成務塾の魅力と展望を、実行委員長の古川淳一氏を始め、主だった参加メンバーの方々に語っていただきました。

## 有限会社ニッコロ・ネット

古川 淳一氏  
(開物成務塾実行委員長)

毎月1回、九州大学大橋キャンパスで開物成務塾が開催されています。

我々中小企業は、常に新しい商品・サービスを開発し、また販売方法や生産方法を工夫することで、売上のアップ、コストダウンを考えていかなければなりません。

しかし、社内スタッフだけの研究開発では、視野が狭くなり市場とマッチしない商品・サー

ビスを作ってしまったり、売るターゲットを間違えて、なかなか売れなかったりと思い通りに進まないことが多いように思えます。

開物成務塾では、中小企業経営者である会員メンバーから、その道のプロとしてのアドバイスをいただいたり、またユーザ視点からの評価をもらったりと具体的なアドバイスを行います。また、塾長である九州大学産学連携センターの湯本長伯教授の指導の下、商品開発の際のノウハウや手法のレクチャーをいただいたり、メンバーからのアドバイスをきちんとまとめていただいたり、今後何をすべきかの指針を示していただいています。我々の身の丈に合った産学連携を実施しています。

楽しくも厳しいメンバー同士のやりとりが新しいビジネスの誕生を予感させます。

また、開物成務塾としては1年ちよっと(南部エリア交流会からは約2年)ではありますが、少しずつ成果も出始めてきてい

ます。

今後はメンバー間で、それぞれの得意分野を活かし、お互いにビジネスとしてメリットのある形を作り上げていく産学連携へと展開していきたいと考えています。

3年後には、メンバーで新しく作り上げたビジネスの規模をトータルで100億円を目指して、連携を強化していこうと思っています。我々地元中小企業が元気になって、九州大学の学生さんが地元で働きたいと思う会社になり、福岡を元気で活気ある街にしていけることがこの塾の最終的な目標です。

新製品開発・新しい事業の企画をどう進めていいのかお悩みの方はぜひ一度開物成務塾に参加してみてください。

## 株式会社ユニティ

高谷 幸一氏  
(福岡地区 担当副幹事長)

開物成務塾も、スタートして1年が過ぎましたが、立ち上げのきっかけは、平成20年度の南

部エリア交流会でした。

当時の実行委員会、地域と関わるということから、南区にある九州大学大橋キャンパスの湯本教授のもとを訪ねました。そこで、湯本教授から、地域が活性化する為には、中小企業が元気でなければダメであり、また、卒業していく学生が地元でより多く就職できる為にも、企業経営革新の勉強会開催のご提案をいただき、各社の新商品・新サービスについてのワークショップとして、平成20年8月に第1回目を開催しました。その後、単発の勉強会ではなく、継続した活動とするために、実行委員で、月1回のワークショップを開催し、平成21年3月南部エリア交流会にて発表後の経過報告会を行いました。

平成21年度から、エリア交流会がなくなるに当たり、参加者から、このワークショップを継続していきたいという声から、自主的に有志で続けていくことを確認しておりますが、福岡地区会の研究会として認められ、湯本教授から「開物成務塾」と命名いただき、平成21年5月に第1回目を開催し、現在へと至っております。

## アクアテクノス株式会社

上原 功暉氏 (玄海支部)

「開物成務塾」という名前は、湯本先生が中国古典よりお

付けになったと聞いていましたが、その意味を長く知りませんでした。検索して読み進めるうちに、先生の熱いメッセージを悟りました。「物を開かんとせば、務めて成すべし。」確かに中国の古典から引用された言葉ですが、明治の初期、非常な苦勞をもって新たな土地を開墾した人々を励ます言葉として広く使われたようです。開成中学、開成高校などといった名前が日本全国に残っているのはこの事かと思に至りました。新しい扉を開くために、勇気を持って苦難に立ち向かって行った先人たちの志、熱い心が伝わってくる言葉です。

私も、プレゼンさせていただき、多くの貴重な意見を頂きました。業種業態の違うみんなから、知恵と励ましを頂き、プレゼンをした誰もが「有難うございました」と言いたくなる、そんな熱気にあふれたワークショップです。

## 健康居酒屋 野菜王国

崎田 正司氏 (南支部)

商品を開発販売しようと思っでも、問題をクリアできずあきらめてしまう、その繰り返しでした。

それが今、県から「自然薯ドレッシングの開発と販売による食品加工事業分野への進出」という内容で、麻生知事の印が押

された経営革新計画承諾書や福岡産業デザイン奨励賞を受賞し、大きな信用になり、日経新聞やテレビなどで紹介され反響を呼ぶまでになりました。

発端は開物成務塾でした。具体的なテーマで湯本教授を交え、何とか商品化して売るにはどうするかまで討議します。私も居酒屋の親父と大学教授との結びつきなどあるのだからうかと真剣に悩みながらも出席していました。

ある日、別の人への具体的にわかりやすく深い洞察での助言を聞いているとピンと来ました。店でお客様に出している人気の自然薯ドレッシングで世間にデビューできないかとひらめいたのです。

それからの燃える日々、FASTなど多くの人との出会いがあり商品化と販売までに進んでいます。

## カラービジネスLABO

片山 孝子氏（福友支部）

「色彩」は様々な分野に関わりがあるため「モノづくり」という場面で皆さんがどんなことを考え悩んでいるかを知りたくて参加しました。そこでの活発な議論に驚き、それが着々と活用されていく様子を知ることが私自身も発表者に！

『福岡色イロ塾』というセミナーを定期開催するにあたり、



開物成務塾の様子

その内容や進め方がどう受け入れられるかを知りたくて発表しましたが、それまで見てきたように私も非常に厳しい意見はいただきました。でもそれは突き当たっていた壁をブチ破るアイデアとパワーにも！

セミナー開始後もアドバイスを思い出したり、他の方の発表やその議論の中からヒントを貰ったり、と振り返りの場になっていきます。

自分とは違う知識や経験を持つ方々の意見が聴けることは、まるで社外ブレインをたくさん持つているようなもの。これほど多くの方に体験していただきたいものです。

そして参加者全員が発展し、この福岡をもっと元気に！

## 不二屋事務用品

井上 峰春氏（博多支部）

私と開物成務塾との出会いは、南部エリア交流会に参加させていただいたのが始まりです。ちょうどその頃ひとつのアイデアを考えていたこともあり、この塾ならいろいろな人の考えを取り込んでいいものが作れそうだと考え、発表することにいたしました。

そのアイデアとは広告旗ポールの支持台に取り付けるメッセージスタンドで、開発した商品は、低コストでなおかつ簡単に取り付けが可能となっています。店先に並んだのほりやポールは見た目にも華やかですが、営業時間外はほとんど片付けられてしまいますので、殺風景な支持台が取り残されてしまいます。

現在は補助金の助けも借りて特許申請も終え、いよいよ流通ルートに乗せていく段階です。

今回このメッセージスタンドを開発するにあたり、開物成務塾で発表することで多くの忌憚のない意見を頂くことができました。



メッセージスタンド

## 開物成務塾の開催と

# 草の根イノベーション

九州大学・産学連携センター・デザイン総合部門  
高等教育機構



教授 湯本 長伯

九州大学の各キャンパスにある産学連携センターの部門の1つ、デザイン総合部門で、中小企業経営・開発革新講座という取り組みを始めて、この7月で3年になる。2年前からは開物成務塾と命名して、心新たに産学のメンバーが毎月集まり、研鑽を続けている。

なぜ塾かと言えば、何の垣根も無く志のある人々が自然に集まり、誰かに何かを貰うのではなく、自分たちの力で自分たちの中から何かを生み出し相互に高めて行く、そういう人々の凝集を塾と言うからである。開物とはものの真髓に達するまで追求研究することであり、成務とは人間として成すべき務めを果たす、立派な仕事を行える人間になることで、併せて研究教育、あるいは自己研鑽と言って良い。こういう皆さんの志を、名前に現わしてみたいのである。

この塾の目指すものは、一言で言えば「草の根イノベーション」である。大企業に頼るのではなく、自分たちの力で自分たちのアイデアで、自分たちの地域に新しい事業を起こすこと、そのために新しい発想・創造法を学びつつ、新しい製品、商品、事業を相互研鑽して創り出し、自分たちの足元に利益と雇用を創り出す、それが開物成務塾の目標であり、1人より100人で100億円の事業を地元で創り出すよう、今日も頑張っているところである。



伝言板ツール Rerebo

**エス・エス・エル株式会社**  
 おおの 信幸氏（福友支部）  
 私が発表したのはRerebo（伝言板ツール）と電子印鑑。実はこれらは、2年前に中堅社員達が自主的に仕事の合間に社員間の使用目的のために作成、また将来の商品作りの為の原型を考案作成したものです。  
 発表の際に頂いたご意見は、ただの絵、画像では意味がない、電子認証できないもののため、発想が古いといった手厳しいものから、これは会社PRに使ってはどうか、世の中三文判もあるけど簡単な暗号を取り入れてはどうかなど前向きな意見も頂き、今後の弊社の取り組みに大きなヒントを頂きました。  
 これらの開発は若い社員の研修も兼ねてブラッシュアップさせて今も現在進行形です。



電子印鑑

（ほぼ2版も90%完成）また、Rereboに関して開物成務塾内で実際に試験運用を行い、問題点を見つけていこうという試みも行っています。

**有限会社テクノデービー**

井手 弘行氏（南支部）

開物成務塾で発表をしたのは今年2月。参加のきっかけは、親しみやすい商品名と営業方法のヒントを得ようと思ったこと、また、参加している方に「ヒント楽で便利ですよ」と伝えたかった事です。

塾で皆さんから頂いたアドバイスシートを元に、商品名の変更、ソフトの内容見直しを行い、安価なバージョンの開発も行いました。

現在は手配りチラシの配布、ユーザーズルームでの動画説明の作成、商品PRのつばやき、それに税理士さんへのダイレクトメッセージなどツイッターを活用した営業活動が中心ですが、今後はアドバイスシートの中にあつた「セミナーを開催する」も中心にあせらず気長に成長させて販売して行こうと考えています。



現在、毎月行われている開物成務塾の参加者は30名以上。企業連携や技術開発に意欲のある会員が多数参加し、真剣な議論を交わしています。

開催は毎月1回（湯本教授の都合で変動あり）午後6時30分から。100億円のビジネスを作ろうというエネルギーを実感してみたい方は足を運んでみてはいかがでしょうか。

取材に協力していただいた皆様、ありがとうございます。

**開物成務塾発表者一覧**

南部エリア交流会	2008年8月	横山行政総合事務所	横山	自社PRチラシの作成について
第1回ワークショップ	2008年10月	㈱ニコニコ・ネット	宮崎	子どもにも安心安全な日焼け止めクリームの開発
		㈱コマツ設計事務所	小松	車の日除けシート
第2回ワークショップ	2008年11月	㈱ニコニコ・ネット	宮崎	子どもにも安心・安全な虫除けスプレーの開発について
		㈱ウィズアルファ	宮崎	医療用男性かつらの開発
第3回ワークショップ	2008年12月	㈱コスモライフ	渡木	来店型保険ショップ
		タケショー住宅㈱	竹下	不動産業様向けチラシ
第4回ワークショップ	2009年1月	サン・フカヤ㈱	船木	蜂蜜のジャムゼリー
		㈱ニコニコ・ネット	澤部	幼稚園レンタルホームページの開発について
第5回ワークショップ	2009年2月	㈱コマツ設計事務所	小松	車の日除けシート（2回目）
		㈱ソナーソフトウェア	有田	電話が鳴るとパソコンにお客様情報を表示システムHitCall
		不二屋事務用品	井上	のぼり旗ポールスタンドからのハートフルメッセージ
南部エリア交流会 中間報告会（2009年3月）				
第1回	2009年5月	㈱タイセイ	笠置	Agシルクアミノ酸加工ハンドタオルの販売等の関する件1
第2回	2009年6月	㈱タイセイ	笠置	Agシルクアミノ酸加工ハンドタオルの販売等の関する件2
第3回	2009年7月	㈱コマツ設計事務所	小松	私がついてるよ、一緒にがんばろう（安心立命）
		㈱アーヴァン	綾戸（中野）	マリンスポーツ用品の開発
第4回	2009年8月	㈱3Concept	赤塚	食の情報サイト「ふくメシ」の魅力付け
		㈱アイル	樋口	足場作業用リフト「猿蓑太助」のレンタル・販売について
第5回	2009年9月	ナガタ建設㈱	淀川	家の事は生きること
		㈱野菜王国	崎田	自然薯ドレッシングの販売について
第6回	2009年10月	アクアテクノス㈱	上原	水質浄化バイオ製剤アクアリフト1600P1600L 事業展開
		不二屋事務用品	井上	メッセージスタンドについて（第2弾）
第7回	2009年11月	㈱アーヴァン	綾戸（中野）	エアーファニチャー 『マルチエアパーテーション』の開発
		ATV福岡（武田自動車販売）	武田	後継者としての一般小売業から、ファブレス「部品メーカー」への脱皮
第8回	2009年12月	㈱絡線屋（からくりや）	北川	吊り下げ式電波時計の開発
		㈱かこ	織田	博多三大鍋「慶満鍋」
第9回	2010年1月	カラービジネスLABO	片山	色彩戦略活用セミナー「色イロ塾」新規開催
		㈱ウィズアルファ	宮崎	一般美容室で拡販していくニューコンセプトかつら
第10回	2010年2月	㈱九州フォトライブラリー	富谷	スカイキャッチャーの活用について
		パーシモンズ	柿本	きのご栽培キット
第11回	2010年4月	㈱ケイニング	甲斐	医療の地域連携と医療情報システム
		㈱テクノデービー	井手	「資金繰り」ソフトの販売方法について
中間報告会（2010年3月）				
第11回	2010年4月	エス・エス・エル㈱	大野	「電子印鑑」について
第12回	2010年5月	㈱ニコニコ・ネット	宮崎	九州うまいもん販売サイト「はかうまっ」について
		エス・エス・エル㈱	大野	医療の地域連携と医療情報システム
第13回	2010年6月	メンバーディスカッション	-	塾生間コラボレーションによる事業展開
		㈱スピリッツ	杉原	新しいカタチのご当地グッズ「ご当地美少女グッズ」
		アクアテクノス㈱	上原	エトウエコボイラー販売の展開

# 21世紀型 自立型企業づくり

## 人の役に立っている事を 肌で感じ喜び合える

### 聞き上手で問題解決

世界同時金融危機以来、保険業界にも淘汰の波が押し寄せています。生き残りを掛けた企業の戦略と、その根底にある理念に迫りました。

#### イケイケの拡大路線

「株グッド・サポートは平成14年に創業しました」と語るのは、代表取締役の中島克海さんです。

一般的に、保険業界では、数年保険会社で研修生として

業務を習得し系列の代理店として独立します。従業員はほとんどが少人数の組織です。

中島さんは独立する際に、単なる専属的な代理店ではなく、スタッフをしつかり揃え

拡大路線を目指しました。その過程において代理店の吸収

合併や退職者を引き受けました。

取り扱い保険は、損害保険12社・生命保険14社・少額短期保険2社・住宅瑕疵担保

保険1社と合計29社（平成22年5月現在）に上ります。お客様のニーズにきめ細か



く応えられるようにという配慮からです。「1社の保険会社専属では、高いものを勧めなければならぬ場合があります。同じ内容なら少しでも保険料が低く内容のいいものを勧めたい」。

そんな折、WEB上で自動車保険一括見積もりにて成功している話を聞き、早速同社でも取り組みました。広告宣

伝費は多少かさみました。売り上げは飛躍的に伸び、中島さん自身も「これはいい時代にいる」と思ったそうです。しかしそこに思わぬ落とし穴がありました。

#### 同友会での学び

中島さんは同友会には平成15年に入会しました。仕事上

#### corporate data

株式会社 グッド・サポート  
創業/2002年12月  
資本金/1,000万円  
年商/2億2,970万円  
従業員/社員18名、パート1名  
住所/福岡市博多区御供所町  
2-63 博多バルビル3F  
<http://www.good-sp.co.jp/>

は保険会社からの制約が多く、中には経営まで口出ししてくるケースがあります。『同友会は勉強する会と聞いていました。実際に役に立つことが多くまた、異業種の経営者の方と交流をもてる事は、経営にも役に立ちます』。

まず取り組んだのは福友支部での経営指針書作成の末政塾でした。担当副ブロック長を引き受け自らも「経営指針書」の作成に取り組みました。

時を同じくして、ウェブでの火災保険募集は、費用対効果が悪化しました。他社との競争が激しくなり広告宣伝費が膨らんできたのです。そこで「ドーンと赤字になりましたね」と中島さんは振り返ります。「あの時は真剣に経営指針書を考え直しました」。あすなる塾の中で先輩経営者から「売上ー経費＝利益」ではなく、「売上ー利益＝経費」という発想に切り替えるよう諭されたといいます。即ち拡大していけば利益が付いてく

るのではなく、拡大する中にも利益をキチンと追求しなければならぬということですね。「拡大路線という名の『膨張』ということに気づきました」。

**理念の再確認・浸透**

同社の理念は「人の役に立っている事を肌で感じ喜び

合える『STAFF大歓喜企業』。改めて確認したので。赤字克服のために、経費の削減と売上アップ。広告宣伝費の削減、つまりウェブ部門の縮小など固定費を見直す一方で、長期契約が多い商品を、中・短期商品に比重を変え、満期が来て見直しを図れるようシフトしていききました。リーマンショック後、特に社



21世紀型  
自立型企業づくり



株式会社 グッド・サポート

代表取締役

なか じま  
**中島**

かつ み  
**克海氏**

福友支部

取材 情報室  
文章 弘治  
写真 菅原 木 船

内ではお客様に少しでも保険料削減になるようにと社員に指示をし、理念に基づきあくまでもお客様の満足が得られる提案を旨としました。その結果売上は減少したものの



優秀な企業の証として取扱い保険会社から送られた賞状楯

の、新規顧客が増え「これは私どもがやっていることを認めていただいたと実感しました」と中島さんは語ります。

### 人財育成と組織の活性化

とりわけ扱う保険の多い同社では、商品知識の習得が必須となります。「週に3回早朝45分勉強会の時間を取ります」。保険会社から講師を呼んだり、スタッフがそれぞれの知識をオープンにしたりします。生保と損保両方を扱えるようになるのは当然のこと、他のスタッフに役に立てるようにするということは、お客様の満足の第1歩となります。

さらに組織内では、まず各セクションに今までより責任を譲渡しました。報告は管理職を通して行うこと、昨年までは役員がやっていました。責任を持つことで『次の世代』が生まれていくのを期待しています。ある程度の自由裁量を与えることにより、売上主義に走ることなく、理念

に沿ってお客様に喜んでいただけるような提案に心がけるようにしました。

組織の中で目を引くのは「コミュニティ部門」で、社内キャンペーンを企画し活性化を図っています。「チームワークで生産性を上げて行きたいですね。そして例えば担当者が変わってもサービスは変わらない、そういう企業体質を目指しています」。

### 「理念に基づき動け！」

保険会社が役に立つときは、事故や災害など何か起こったときです。平成21年7月に襲ったゲリラ豪雨。その日、中島さんは「あすなる塾」の実行担当者でした。その朝、社員向けに出された社長メールは「理念に基づいて動いて下さい！」でした。全ての営業スタッフがそれぞれに考えてお客様のところを走り回ったそうです。

社会問題になったのは、保険の未払い・不払い。「キチンとした説明がなされていない

いのです。入り口（説明）がしつかりしていれば、出口（支払い）もはっきりします」。

こんな事例もあります。数台の車を保有する会社で1台入れ替えをしたそうです。その車の保険を見直すだけでなく全車両の保険を見直すことで保険料が安くなることがあるそうです。

「そういう時間の掛かる事を惜しまずにやることのお客様との信頼関係を構築していくのです。

事故時の対応は当たり前です。それを超越した感動だと思います」。

同社のPCの待ち受け画面は常に「理念」が表示されています。仕事はお客様の問題解決。顕在する問題にとどまらず、聞き上手になり潜在する問題までも解決のお手伝いすることが同社の行動指針に明記されています。

### 今後の展開

現在保険業界は3つのメガグループが席卷しています。

その中で同社は専門性の高いスタッフを揃え、決して大手に引けを取らない提案をしています。「オリジナル商品が作れるようになればいいんですが、まだまだ規模が小さいですね」と中島さん。将来は、10社の社長を育成し「グッド・サポートグループ」を作り、保険の事、また世間の事を語り合いたいという夢を持っていきます。

### 自立型企業とは

最後に中島さんの考える自立型企業についてお伺いしました。

「業界的には保険が支社に依存する割合が非常に高いです。人財育成・経営を含め保険会社に頼らない独自性を出す。各スタッフが経営者の気持ちで経営指針書に基づいて行動できるようになればと思います」。

取材協力ありがとうございました。



# 常に進化！ 全ては「お客様の笑顔」のために

## 株式会社 ウィズアルファ

代表取締役

宮崎 みやざき

弥生氏 やよい

福友支部



笑顔で「顧客満足」について語る宮崎氏



アンケートに力を入れて  
喜びの声が届くように

より良い商品を低価格でご提供する  
ために、弊社では2001年の  
事業スタート時より製品開発を海  
外に委託してきました。場所はイン  
ドネシア。海外委託でも日本以上の  
品質を実現するために、様々な取り  
組みをしてきました。製品開発の仕  
様書は日本以上に詳しく書き記し  
たり、定期的な現地視察に力を入れ  
ています。しかし、当然のことながら

交通の便は良くありません。工場に  
到着するまでに丸一日かかるので、  
最低でも4泊の日程を要します。で  
も、それらの目的は全て「顧客満足」  
その使命が、私を現地向かわせて  
いるのかもしれない。  
また、弊社では3年前から顧客ア  
ンケートに注力し、今では500以  
上の「生の声」を収集することに成  
功しました。それらは全て宝物です。  
例えば、一般的なカツラはピンやテ  
ープで止めるため、締めつけ感がある  
のですが、アンケートによりお客様

の不満足要素を知った弊社では早速商  
品改良に着手し、シリコンを多用し  
た新商品を開発しました。新商品は  
締めつけ感がなくなったばかりでな  
く、フィット感も向上し、お客様から  
喜びの声をいただくことができました  
た。また、抗がん剤治療などにより早  
急にカツラを望むお客様に対しては  
販売方法を改良。詳細にわたる電話  
カウンセリングを徹底することで、  
短期で納品することが可能となりま  
した。それらは全てアンケートから  
得られた声をもとに改良（開発）し  
ていったものであり、売れる商品づ  
くりにおいて欠かせない武器となっ  
ています。

さらに今、福岡工業大学と産学連

携し、カツラの「型」をインドネシア  
の工場に「3D電送」する実験に取  
り組んでいます。仕様書などはメー  
ルで送ることができですが、型は立  
体なので郵送するしか方法がありま  
せん。しかし、当然のことながら海外  
郵送は時間がかかります。これを3  
D転送することで、大幅な時間短縮  
が実現するわけです。結果、お客様に  
喜んでいただくことはもちろん、他  
業界でも応用、サービス向上につな  
がることを期待しています。  
最近つくづく「物づくり」の楽し  
さを実感します。それはきっと、商品  
の先に「お客様の笑顔」があるから  
なのでしょうね。



社内の風景

### corporate data

株式会社ウィズアルファ  
〒815-0035  
福岡市南区向野2-1-15-29-2005  
TEL 092(557)1196  
FAX 092(557)1197  
<http://www.katurawith.com/>  
E-mail: [info@katurawith.com](mailto:info@katurawith.com)

取材・撮影：広報情報室 米満 和彦  
一部写真提供：株式会社ウィズアルファ

## 中同協第42回定時総会で

## 「中小企業憲章草案」を採択

## 理念的指針に掲げ憲章運動の次のステップへ

7月8日～9日、大分で中同協第42回定時総会が開かれ、「中小企業憲章草案」が採択されました。2年間にわたる会内の議論を通して練り上げた「中小企業憲章草案」を今後の憲章推進運動の理念的指針にしていきます。同時に、6月18日に閣議決定された「中小企業憲章」を中小企業全体、国民全体に広げ、日本に根づかせていくことが大切です。

2010年5月7日

## 中小企業憲章草案

## 中小企業家同友会全国協議会

## 草案発表にあたって

中小企業憲章は、日本の経済・社会・文化及び国民生活における中小企業（自営業を含む）の役割を高く評価し、豊かな国づくりの柱にするることを国民の共通の認識とす業憲章の制定を国会で決議

し、現行の中小企業基本法をはじめ、諸法令を整備・充実させる指針とするものです。

私たちは、2003年から中小企業憲章と中小企業振興基本条例の制定を活動方針に掲げ、中小企業憲章制定運動推進本部を中心に取り組んできました。2009年には「中小企業憲章草案（第一次案・

会内討議資料）」を公表し、

会内での討論や学習を進め、議論を深めてきました。そして、2010年には中小企業

庁が「中小企業憲章に関する研究会」を設置するなど、中小企業憲章の制定が具体的日程にのぼっています。

これまで、私たちは、経営指針づくりや社員教育活動な

ど企業体質改善運動と経営環境改善運動とを車の両輪として進めてきました。そのなかから、めざすべき中小企業像や日本経済のあり方などについて認識を深め、中小企業憲章の必要性を確信するにいたりました。EUでは2000年に欧州中小企業憲章を制定し、中小企業を軸とした経済政策・戦略が採用されて実効をあげています。日本でも独自の憲章を制定して日本経済の再生と新たな発展をめざすべきであると考えます。

草案の「前文」は中小企業の意義と役割についての基本理念を述べ、「指針」は基本理念を実現するための政策の基本的方向を述べています。この草案が中小企業憲章に関する広範な議論、検討を進める素材として活用されることを期待します。

## 前文

私たち日本国民は、国民一人ひとりを大切にする豊かな国づくりのために、日本の経済・

社会・文化及び国民生活における中小企業の役割を高く評価し、ここに中小企業憲章を制定する。

私たち日本国民は、中小企業を次のように認識し、期待する。

中小企業は、日本経済の根幹である。

中小企業は、暮らしに根ざす仕事を生み出し、雇用の主要な担い手として、地域、社会、文化の力強い発展に貢献する。

中小企業は、先人の知恵に学び、互いに結び励ましあい、競い高めあい、人を育て、国民や地域の期待にこたえる。

中小企業は、日本経済の健全な発展、人類と地球の持続可能な未来に貢献し、国民の平和で安定した暮らしを実現する。

世界の国々は中小企業の活躍を積極的に支援している。日本の中小企業は、その歴史と経験をふまえ、世界の中小企業との連携を強める。

中小企業への影響を第一に考慮した総合的な政策を実行するとき、国民生活を豊かにする日本経済の新しい発展がはじまる。

そのために私たちは、以下の10項目の指針を国民の総意として宣言し、政府は国民の協力を得て実行しなければならぬ。

## 指針

### 1. 多様な産業を基礎とする

#### 日本経済を築く

多様な産業を基礎とする日本経済は国民の安定した暮らしに根ざす経済である。中小企業は、時代を貫いて、自ら律し、自ら生きる能力と活力を培ってきた。中小企業がすべての地域のどんな小さな必要をも市場として創造し、新

たな日本経済に転換しなければならぬ。

### 2. 中小企業の声を聞く

中小企業が社会的に発言する機会をひろげる。政府・自治体は政策決定・行政を進めるに当たって、広く国民や中小企業の声を聞き、中小企業への影響を第一に考慮する。政府は、総合的に政策を進めるために中小企業省を設置する。

### 3. 公正な競争を確保する

政府は、公正な競争環境を確保する。大企業は、大規模な事業体としての役割と社会的責任を果たす。また、事業・金融の協同組織や新しい事業体は中小企業と協働して発展する。

### 4. 雇用を確保する

中小企業が地域の資源活用、雇用、納税、地域づくりなどをとおして地域社会とのきずなを強め、地域経済振興に貢献することを支持す

る。そのために、地方自治体が中小企業振興基本条例等の制定・見直しをすすめ、地域経済を活性化することを期待し、奨励する。また、中小企業が農林水産業と連携して自らの知恵と技術を活用し、食料自給率の改善に貢献することを支援する。

### 5. 円滑な金融・公正な税制・適正な財政を築く

金融は産業育成と円滑な資金供給という本来の役割を取り戻し、政府は円滑な金融の責任を担う。公正な税制を設計し、適正な財政を実施する。その際、小規模企業や自営業者が特別に配慮されることが必要である。

### 6. 持続可能な社会をめざす

中小企業は、自らの事業活動を通じて地球環境の保全に貢献し、持続可能な社会をめざす。政府・自治体はその取り組みを支援する。中小企業のそのような役割と姿勢が国民に理解され、信頼され、安

心と安全を要請する社会の期待にこたえる。

### 7. 誰もが共に暮らし、挑戦ができる社会をつくる

中小企業が女性の雇用と登用をはかることを支援する。また、障害者の自立した生活の基礎となる雇用を生み出し、高齢者や外国人を問わず、誰もが共に暮らせる共生社会をつくる中小企業の努力を支援する。さらに、企業家になることを支援し、失敗しても再挑戦ができる社会をつくる。

### 8. 仕事の誇りと向上の喜びをもつことができる環境を構築する

中小企業は人が育つ場である。中小企業に働く人々が仕事の誇りと向上の喜びをもつことができる職場をめざし、責任と勤労が報われるような社会環境を構築する。また、その前提となる、医療、福祉、教育、労働のための総合的な政策を充実し、安心して育児

と介護ができる環境を整備する。

### 9. 企業家精神を学び、創業への関心をよびおこす

学校・社会・家庭の教育において中小企業の存在意義や企業家精神を学ぶ機会を増やし、創業への関心をよびおこす。そして、中小企業が基礎的な経営知識や技術・技能を修得し、先進的な科学技術を生かした製品・サービスの開発に取り組みむことを支援し、積極的に経営に活用できる環境を整備する。

### 10. 伝統と文化を大切にし、国際交流を深める

中小企業が歴史ある諸産業における伝統的な技術・技能を継承し、国民と地域の文化を守り育てることを支援する。貿易・投資・雇用などを通じて国際交流を深め、互いの経済の平和で安定的な発展に貢献し、アジアをはじめ世界との共生に努力する。

以上

## 19 木 18:30—21:00 中央支部8月例会

### 自社の未来を拓く経営指針書

～経営危機を乗り越えた魔法の書～

- 天神ビル11F 9号会議室  
福岡市中央区天神2-12-1 0120-323-920
- 中原 亜希子氏 株式会社プロデュース  
代表取締役(ひびき支部)

■現在、中原氏は介護事業を営み、ホームの経営と運営に取り組んでおられます。過去には幾多のピンチに直面するもそのピンチ乗り越えてこられました。「乗り越えられたのは人との出会い、同友会への入会、そして経営指針書のおかげ」と語る中原氏。その実体験をもとに経営指針書づくりで自社の経営がどのように変わったのかを報告していただきます。

## 19 木 18:30—21:00 筑紫支部8月例会

### 仕事づくり(仮)

- 筑紫野市生涯学習センター  
筑紫野市二日市南1-9-3 092-918-3535
- 宮崎 弥生氏 株式会社ウィズアルファ  
代表取締役(福友支部)

■常にどうしたら顧客に喜ばれるかを念頭に置き、お客様が何を欲しているかをお客様の声から情報を収集し、より良いサービス・商品開発を提供できるかを学ぶ。

## 22 日 11:00—15:00 青年支部8月例会

### 地引網・バーベキューで大交流会

- 初音旅館  
糸島市志摩新町 476番地 1
- ※大人 4,000円 中学生 2,000円 小学生 1,500円 幼児(3才以上) 500円 乳児 無料

## 23 月 11:00—21:30 福友支部 FUKUYU EXPO

- ANAクラウンプラザホテル福岡 2階グランドボールルーム  
福岡市博多区博多駅前 3-3-3 092-471-7111
- 11:00～16:30 合同展示会  
「お互いの仕事を知ろう!!」入場料: 無料  
福友支部会員企業 100社出展予定
- 17:00～18:30 講演会  
「接客道で輝く自分へ!!」入場料: 無料  
講師 辰巳 明弘氏 株式会社佳論 代表取締役社長
- 18:45～21:30 納涼懇親会  
「不況も暑さも吹っ飛ばそう!!」参加費: 3,500円

## 23 月 18:30—21:00 有明支部8月例会

### あすなろ塾受講後の私の決心

- カフェ・ブラウンシュガー(予定)
- 池末 英資氏 いけすえ保険事務所 代表者
- 6月に行われたあすなろ塾を受講された池末副支部長に、あすなろ塾を受けた率直な感想と、今後の気構え・心構え等を話していただきます。

## 24 火 18:30—21:00 玄海支部8月例会

### 中小企業のITによる業務改善

- 都久志会館  
福岡市中央区天神4-8-10 092-741-3335
- 岩崎 博之氏 高森 悟氏 長嶺 雅透氏(玄海支部)
- みなさん日頃から業務の効率化や改善策を模索している事と思います。そこで、今例会では、ITの分野から新たな業務改善策の気づきになるような内容にします。業務の流れや、作業の流れを可視化する方法を紹介した後、ブロックのメンバーが手がけた、業務改善の経験を活かしてITによる業務改善手法を小規模事例・中規模事例に分けて紹介します。色々な企業の業務改善策をシェアする事により、自社での新たな改善策へのヒントにつなげてもらいたいと思います。

## 24 火 18:30—21:00 企業連携推進委員会 FAST 8月例会

### 頼れる、ものづくりのプラットフォーム

- ～製品作りから販路開拓まで～
- 福岡県中小企業振興センター 302号会議室  
福岡市博多区吉塚本町 9-15
- 松崎 一海氏 松崎経営情報化コンサル・A c  
中小企業診断士(南支部)

- 樋口 康治氏 株式会社アイル  
代表取締役(筑紫支部)
- 社員発想を汲み上げ、連携先は身近なところから生まれた足場作業用リフトの猿鷹太助

- 花田 博道氏 株式会社花田設備  
専務取締役(南支部)
- 消防法改正を絶好のチャンスと捉えて、「強み」を発揮!  
3年目に1億以上を狙う「水防協方式の水道連結型スプリンクラー設備の電動弁制御盤システム」

## 27 金 18:30—21:00 バリアフリー委員会勉強会

### 社風を変えた一人の社員

- 同友会会議室  
福岡市博多区吉塚本町 9-15 中小企業振興センター 11F
- 添田 多彦氏 有限会社一正塗装工業 代表取締役(福友支部)

## 28 土 11:30—15:00 南支部8月例会

### 同友会活動と、家族の大切さ

- さうお本店  
福岡市西区小田 79-6 092-809-2668
- 濱田 浩光氏 貼りアップ株式会社  
代表取締役(南支部)
- 代表者には、会社と家族と言う 2つの組織(仲間)を持っています。家族の大切さを知る事が、社員の大切さを学ぶ方法です。普段から家族と社員を大切にしている濱田社長の経験や考え方を聞き、日頃は、普通と感じていた事に大切な物が隠れている事に気付く事のできる話をして頂きます。

## 9/2 木 18:30—21:00 女性部委員会 福岡同友会女性部総会

- 天神ビル 10号会議室  
福岡市中央区天神 2-12-1 0120-323-920
- 久賀 きよ江氏 株式会社メガネマーケット  
代表取締役(埼玉同友会会員)

## 9/4 土 9:30—18:00 福岡地区 経営指針作成 『あすなろ塾(福岡会場)』

- 福岡県中小企業振興センター 501会議室  
福岡市博多区吉塚本町 9-15
- 経営の基礎知識を学習する1日セミナーです。経営理念を作り上げていきます。経営指針書は企業の進むべき方向を明確にし、全社一丸の体制を築き上げます。

## 未定 かすや支部8月例会(ブロック会振替)

- 松山工業株式会社  
糟屋郡粕屋町若宮 2-8-20 0120-323-920
- 松山 正治氏 松山工業株式会社  
代表取締役(かすや支部)

お申込み、お問い合わせは、e.doyu  
もしくは、同友会事務局までお願いします

e.doyu アドレス▼  
<http://e.doyu.jp/fukuoka/>  
同友会事務局 本部 TEL092-686-1234  
北九州地区センター TEL093-551-3111  
\* ID、PW をお忘れの方は事務局までお問い合わせ下さい。

お知り合いの方を誘って、是非ご参加下さい

**6** 金 9:30—8月8日(日)16:00 経営指針推進本部

## 経営指針作成セミナー(2泊3日)

## ■グランディア太宰府

太宰府市連歌屋3-8-1 092-925-5801

■『あすなる塾』での学びをさらに深め、あらたに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を実際に作成します。急激に移り変わる経営環境のなか、経営指針書の存在は企業の進むべき方向を明確にし、全社一丸の体制を築き上げるのに大いに寄与します。

**7** 日 13:00—18:30 新会員フォローアップセミナー

## ■福岡県中小企業振興センター 501会議室

福岡市博多区吉塚本町9-15

■同友会の歴史と理念、経営指針の重要性など、新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

**17** 火 18:30—21:00 博多支部8月例会

## 中小企業のブランディング戦略

～貴方の会社が無くなって、困るお客さんは誰ですか？～

## ■天神ビル 11F9号会議室

福岡市中央区天神2-12-1 0120-323-920

## ■田浦 通氏 株式会社シティーライン

代表取締役(かすや支部)

■株式会社シティーライン 代表取締役 田浦通氏(福岡同友会副代表理事)より、長年携わっている同友会運動から何を学んだのか、そしてそれを自社の経営にどのように活かしたのかを経営理念や経営戦略の策定から実践までのプロセスを経営体験として発表していきます。そして最後に同友会運動の福岡地区のリーダーとして博多支部会員へのメッセージやアドバイスを伝えていただきます。

**17** 火 18:30—21:00 筑豊支部8月例会

## 直方建材把野二三の経営戦略

～時代の流れを読み決断する～

## ■ユメニティのおがた

直方市山部364-4 0949-25-1007

## ■把野 二三氏 株式会社直方建材

代表取締役社長(筑豊支部)

**17** 火 18:30—21:00 久留米支部8月例会「外側からみた中小企業の魅力」と  
「内側からみた中小企業の魅力」

## ■萃香園ホテル

久留米市櫛原町87 0942-35-5351

## ■山口 淳博氏 西日本産業株式会社 取締役(久留米支部)

■福岡県内における事業所の99.7%が中小企業(含む自営業者)、そして就労人口の75%はそこで働いています。この数字から見てとれる通り、中小企業が日本経済を支えているのです。一方で中小企業の経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。中小企業の魅力(強み)は何なのでしょう？銀行出身の報告者が、「外側からみた中小企業の魅力(強み)」と「内側からみた中小企業の魅力(強み)」を報告し、「燈台下暗し」で気付いていない自社の魅力や強みを再認識し、今後の経営に役立てていただければと本例会を企画しました。

**17** 火 18:30—20:45 大牟田支部8月例会

## 経営指針(仮)

## ■だいふく

大牟田市有明町2丁目1番地の3 0944-53-3333

■森 茂博氏 和新工業株式会社 代表取締役社長(筑紫支部)

**18** 水 18:00—21:00 東支部8月例会

## 真の5Sは人づくり

## ■天神ビル 11F 10号会議室

福岡市中央区天神2-12-1 0120-323-920

## ■渡辺 高志氏 株式会社 JIPMソリューション 常務取締役

■5Sという製造業の「生産性向上や安全対策強化」と思われがちですが、実は5Sは人づくり、習慣づくりが目的である。他業種で取り組むことで人の甘え(妥協の限界を下げる意志)を一掃し、全員で取り組むことで基本習慣が身につく会社全体の力となること、また社内活性化に役立ち、「儲ける基本体質づくり」となることを学び、11月の3回目までの期間でエントリー企業に社員とともに実践し検証しながら各社の目的への成果に挑むプロジェクトとする、新しい取り組みである。

**18** 水 18:00—20:30 福博支部8月例会

## 社員がイキイキと働く3つの法則

## ■IPホテル福岡

福岡市博多区中洲5-2-18 092-262-1491

## ■時枝 寛氏 株式会社コムプラ 代表取締役(南支部)

■今年度のスローガンは「いい経営者になる」です。今回は、社員目線で見た「いい経営者」とはどんな経営者なのかを一緒に勉強していこうと考えています。そこで、今回は、(株)コムプラの時枝社長に、今までのご自分の経験を通してどうすれば社員の意識(モチベーション)が上がり、みんながそれぞれの成長を楽しみながら仕事ができるのか？をお話いただきます。

**18** 水 18:30—21:00 北九州・ひびき支部8月合同例会

## ワークライフバランスで会社を丸に

## ■クラウンパレス北九州

北九州市八幡西区東曲里町3-1 093-631-7710

## ■守田 優美氏 社会保険労務士守田優美事務所(中央支部)

■「ワークライフバランス」という言葉は、企業に浸透しているでしょうか。取り組む事に、まだ抵抗があるかもしれません。言葉でよく聞くようになった「ワークライフバランス」を取り組むことでの企業メリットや具体的な取り組み方など、具体的な例を交え、解りやすくひも解き、多くの企業が明日からでも取り組めるような例会にしたいと考えています。

**18** 水 18:30—21:00 業種別情報交換会(建設業関係)

## ■同友会会議室

福岡市博多区吉塚本町9-15

**19** 木 18:30—21:00 嘉飯支部8月例会

## 一緒に笑って泣いて成長した3人の右腕、左腕。

～社員教育も子育てと一緒に～

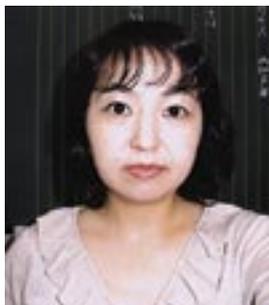
## ■ことぶきかいかん

飯塚市片島1-7-62 0948-22-5138

■丸目 晴代氏 (株)マイティ 代表取締役(嘉飯支部)

# welcome

Make Good Company  
Become a better manager  
Make better business environment



## 株式会社こやのせ地所

不動産業を営んでいます。地元  
木屋瀬で行け行けドンドン  
GOGOでガンバリマス!

北九州市八幡西区木屋瀬5-3-20  
タウンコート101号  
電話 093-617-1380  
FAX 093-618-6040

取締役 <sup>ももた のりこ</sup> 桃田 範子 北九州支部

八幡西区木屋瀬で不動産業を営む こやのせ地所の桃田 範子です。  
入会していろいろな業種の方と知り合うことが出来、ネットワークが出来つつあります。  
これからより良い経営者になれるように、もっともっと頑張りますので宜しくお願いします。



## 株式会社トータルオフィス・タナカ

営業指導、営業に特化した総合  
サポート事業・営業総合プロ  
デュース。食事業。

久留米市宮ノ陣4-29-11  
電話 0942-38-0124  
FAX 0942-38-0122

代表取締役 <sup>たなか みちこ</sup> 田中 美智子 久留米支部

2006年に長年培った営業職、人材育成の経験と、消費者としての目線を活かしながら、営業プロデューサーとして独立をいたしました。  
そして2010年に営業総合プロデュース事業として法人化することができました。法人化を機に私の本気度も周りが認めてくださったのが、私自身も新たな挑戦への思いも一致した時期に、久留米支部の林社長をはじめ、たくさんの方にお声かけをしていただきました。私にとっても、会社にとっても、新たな出会いと気づきとチャンスをいただきました。ありがとうございます。



会場は前原商工会  
会議室。地元の会員  
にとつては、とても  
近くて便利です。天  
神、博多駅での例会  
と比較して、失礼で  
すが交通費がから  
ない。時間もかから  
ない。おまけに、ゲ  
ストも地元の人が中

また今回の集いは、後日、地元の新聞「糸島新聞」にも掲載され、地域で生きている地元中小企業にとって、経済不況の梅雨空に、うつすらとお日様の光が顔を出すような、「糸島の集い」だったかと思えました。  
今後は偶数月の隔月に交流の場を開催し、年2回は例会の形で開催していく予定です。

本年度から一市二町が合併した新生「糸島市」と、九州大学移転に伴う発展目覚ましい、今宿以西の福岡市西区。いわゆる旧糸島郡の地域を中心として、「支部を超えた会員交流の促進を図る」事を目的に、第一回「糸島の集い」を開催致しました。

名、ゲスト二十名、合計四十四名の参加者のもと講師に九州大学教授 坂口光一氏を迎え、演題「糸島の魅力×自社の魅力」売上UP!と題して講演をして頂きました。講演後はグループ討論に入り、テーブルごとに活発な意見で、盛会のうち無事終了いたしました。



糸島新聞7月1日号より転載

心でするので、誘う私達会員も誘いやすい。  
まさにこれぞ、地域密着型の例会方式かと思われました。  
さて当日は、同友会会員二十四

2010年7月1日付「糸島新聞」に掲載される

## 第一回

# 「糸島の集い」

実行委員長 大塚 正造

博多支部

# 2010年度 第3回理事会報告

■日時：2010年7月21日(水) 14:00～16:30

■会場：天神ビル9号会議室

■出席：43名(欠席委任36名) 出席率54.4%

■議長：中山副代表理事

## □開会あいさつ(福田代表理事)

7月8日～9日の二日間、大分で第42回中同協時総会が開催、福岡から77名の参加で学びを深めました。6月18日の閣議で政府の中小企業憲章が決定される中で、同友会の中小企業憲章草案も採択されるという歴史的な総会になりました。いよいよ中小企業が経済の基盤ということが共通になってきているという実感があります。

日程を変更しての理事会ですが、調整いただき参加いただいたことに感謝をすると共に、理事会に続き未来展望プロジェクトにおいてもさわやかで前向きな討議をお願いします。

## 協議事項

(1) 会員増強のとりくみについて(白石増強戦略本部長)

2010年度方針にもとづき、下記の項目ごとに報告がありました。

●各地区、支部での増強のとりくみについては、この後のグループ討議で経験交流をお願いしたい。

●空白地域での支部づくりについては、「糸島地域」の動きが井上理事より報告があり、特に経営指針作りを柱に同友会づくりをすすめること、「うきは地域」の動きが鐘江理事より支部づくりに向けた工程づくりをすすめることが報告されました。

●女性起業家支援セミナー共同開催と増強のとりくみについて、福田代表理事より共催をして連携の中で増強に取り組みたいと、提起と報告がありました。

●農業法人へのとりくみについては、農業関連部会を立ち上げていきたいと提起がありました。

その後、「会員定着」をテーマにして6つのグループで討議をしました。結果を文書で集約することとし、今後のとりくみに生かすこととしました。

(2) 未来展望プロジェクト 第4回会議報告と協議(各リーダーより)

4つのチームそれぞれより、報告がありました。事前に出された2通の意見、質問についてはこの後開催されるプロジェクトの中で討議することとした上で意見をうけ、「理事会への支部長の参加の必要性」が複数の理事から出され、組織検討チームで討議することとしました。

(3) 理事会運営について(福田代表理事)

理事会の設営、運営等について資料に基づき確認されました。

## 審議事項

(1) 入会・退会等審議(事務局長)

入会25名(内2名名義変更入会・1名は1社2人目会員)、退会42名、除籍3名の承認。休会2名、移籍4名の報告、確認。

7月会員数2,064名を確認しました。

全国の会員数および退会申し出者を報告し、

慰留の要請がありました。

(2) 2011年度役員選考委員会の設置について(福田代表理事)

●役員選考規定にもとづき、前回承認された船山委員長の指名により、有馬進さんと林忠範さんを副委員長に選任したことが報告されました。

●委員の選出について、本部・室・委員会の立場から3名を正副代表理事会で推薦、地区の立場の方を各地区1名(合計4名)、支部長の立場の方を福岡2名、北九州・筑豊・県南地区、それぞれ1名づつ(合計5名)を7月末日までに選出することを要請、承認されました。

●第1回選考委員会は、8月下旬に開催予定。

(3) 「70歳まで働ける企業創出事業」受託について(事務局長)

●福岡労働局から要請があった、「70歳まで働ける企業創出事業」を受託するにいたる経過と事業内容、受託した上でのメリットなどの報告があり、同友会として受託することが承認されました。

●重点対策企業への協力の依頼があり、確認されました。

●事業推進の上で必要な経費のうち300万円を2011年5月末までの本会計からの立替も承認されました。

(4) 活動推進のための備品購入について(福田代表理事)

●2台のプロジェクトを購入し、会議の資料削減を図ることを承認。消耗備品費より支出。

●デジタルテレビおよびブルーレイレコーダーの購入を承認。(予備費より支出)

●事務局使用の車にETCおよびカーナビ取り付けを承認。(予備費より支出)

(5) 会員の平等性の確保について(中山副代表理事)

●全国行事への参加費補助のうち、三大自然の隣接県(佐賀・熊本・大分・山口)への参加費補助(1万円)を確認。

●その他の全国行事への参加費補助のうち、隣接県(佐賀・熊本・大分・山口)への参加費補助(7,000円)を確認。

(6) 名誉会員の申請(齋藤理事)

●博多支部より申請があった大森 奨氏の名誉会員への推薦を承認しました。

尚、関連して名誉会員の規定の改定をお願いしたいとの意見が出され、検討することとしました。

## 報告事項

(1) 福岡同友会の活動報告

①本部活動報告

●中小企業憲章推進本部(中山本部長)：閣議決定、中同協総会での草案採択をうけ、今後条例作りにもつれた活動を各地区で展開していくことを提起しました。

●経営指針推進本部(森副本部長)：あすなる塾が4地区で終了、43名が参加。8月の経営指針作成セミナーには現在18名が参加申し込みと報告がありました。

②室、委員会活動報告

●役員研修室(船山室長)：第14期役員研修大学の出席状況報告および参加促進要請。

●国際交流委員会(伊藤委員長)：大連チャレンジショップ1周年記念事業報告。日韓IT企業交流会を第22回経営者フォーラムの分科会成功に向けて開催するために、e.doyuを使用させてほしいと要請があり承認されました。

●バリアフリー委員会(三輪委員長)：第15回障全交(沖縄)への参加報告と、今後活動内容を発信していくために、「バリアフリー委員会便り」を発信していきたい。

●経営者フォーラム委員会(事務局長)：現在の参加状況報告と、来賓案内先、支部例会等での告知日程の報告がありました。また、今回は参加状況報告をメールで配信することが報告されました。

●経営労働委員会(植原委員長)：経営指針とともに重要な就業規則作成のセミナーを5回シリーズで開催することが報告されました。

●女性部委員会(明石委員長)：女性部総会の開催、子育て応援宣言企業を100社をめざすこと、女性部勉強会は今後、男性も参加いただくようにして、7月22日は貞池さんより報告いただくことになっていると報告。今後、九州沖縄ブロックで女性部の連携を強めていきたいと報告がありました。

(福岡県雇用開発課 船江さん)：子育て応援宣言企業への登録の要請がありました。

●地球環境問題委員会(末竹委員長)：同友エコの表彰報告。2010年度も取り組んでほしいと要請がありました。

(2) 全国・中同協活動報告

●宮崎県口蹄疫被害への義援金の報告(事務局長)

6月1日～30日の間に開催された会合で呼びかけ、539,106円が集まったこと、7月8日に宮崎同友会に送金したと報告されました。

(3) 対外活動・外部からの要請事項など

●後援依頼等(事務局長)

この間に要請があった後援等の要請について、資料にもとづき承認した分の報告がありました。

(4) 会員企業のおごき等

●経営革新支援法認定、表彰、褒章の企業および会員の報告がありました。

## □閉会あいさつ(福田代表理事)

熱心な討議に感謝します。理事会の討議およびこの後開催する「未来展望プロジェクト」での討議内容を、地区、支部できちんと伝えていただき、意見も吸い上げていただきたい。



— 伝えたい人から知りたい人へ —

SEGAN CO., LTD. **Segan**  
株式会社 セガン

代表取締役  
**崔 博徳**  
「さい」と呼んでください。

Phone.092-283-5575 Fax.092-283-5587  
E-mail choi@segan.co.jp

印刷・広告デザイン・企画デザインの事はセガンにお任せください。

MCA  
Mind Computer Advisor

HPのご用命は  
MCA株式会社へ

代表取締役  
**安田 益男**  
Yasuda Masuo

〒810-0041  
福岡県福岡市中央区大名2丁目8-22  
天神信成ビル4F  
TEL 092-724-6711 FAX 092-402-3292  
URL <http://www.ymca.co.jp>  
e-mail: yasuda@ymca.co.jp

代表取締役社長  
**渡 邊 賢一郎**

**W**

株式会社ワタナベ

〒812-0064 福岡市東区松田1丁目4番25号  
Telephone (092) 611-3637  
Facsimile (092) 611-3628  
Handyphone 090-9587-6249

**住まいと環境を考える**

代表取締役 **高 木 優 吉**  
Yūkichi TAKAKI

(社)日本しろあり対策協会九州支部・福岡県004  
有限会社 **高木しろあり工務店**

〒811-1365 福岡市南区皿山3丁目2番50号  
TEL 092-553-8518 FAX 092-553-8757  
E-mail: t-shiroari@kem.biglobe.ne.jp  
<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~shiroari/>

印刷・デザイン・ホームページ制作

**高松印刷有限会社**

支店 高松 浩二

<http://takamatsuweb.com>

〒812-0062 福岡市東区松島1丁目4番10号 TEL: 092-611-0573  
[E-Mail] tpc@takamatsuweb.com FAX: 092-611-4055

**KCT** ★デザイン専門部門 <http://www.kcteam.jp/>

塗料・顔料・石膏・接着剤・塗装機器

**有限会社 毛利塗料店**

支店 毛利 雅一

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-22  
TEL (092) 291-1267(代)・FAX (092) 291-3589

◆畳・襖◆ 有限会社 江 副 商店

代表取締役 **江 副 裕 紀**

〒814-0022 福岡市早良区原8-6-15  
TEL 092-871-5253 FAX 092-871-5254  
携帯 090-3192-9203  
E-mail: ezoe-hara@mouruain.ocn.ne.jp

**株式会社 大寿工務店**  
Engineering Construction Corporation

支店 中村 寿利

〒811-1344 福岡市南区三宅3丁目7番22号  
TEL (092) 541-1619 FAX (092) 541-2892  
E-mail daiju@chive.ocn.ne.jp  
<http://www.daiju-eng.com>

自然の恵みを届ける

気軽に飲むなら やっぱりつば八!  
皆様のご来店をお待ちしております。

お一人様 **3000円** から  
(飲物込み・税込み)

**天神一丁目店**  
福岡市中央区天神1丁目13-13  
PM5:00~AM1:00(平日)  
PM4:00~AM0:00(日・祝)  
(年中無休)  
092-711-9024

**博多筑紫口店**  
福岡市博多区筑紫1-13-7 東13丁目ビル401F  
PM5:00~AM1:00(平日)  
PM4:00~AM0:00(日・祝)  
(年中無休)  
092-414-1208

(有)サンケイフーズ  
代表取締役 荒牧 鏡司

**本山社会保険労務士事務所**

社会保険労務士 **本山 隆二郎**

福岡市東区の社会保険労務士です。  
本山社会保険労務士事務所は福岡市東区にて開業致しました。  
人と人の繋がり・信頼関係を大切に皆様の「人事・労務」、人と企業とが繋がるお仕事をサポートさせて頂いております。

〒811-0212  
福岡市東区美和台6-31-5  
TEL : 092-606-3796 FAX : 092-606-3796  
URL <http://www.office-motoyama.com/pc/index.html>  
e-Mail: sr.motoyama@mbs.sphere.ne.jp

Motoyama social insurance office

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>